

(案)

平成 25 年(2013 年)1 月 日

札幌市長 上 田 文 雄 様

札幌市環境影響評価審議会
会 長 佐藤 哲身

(仮称)北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業環境影響評価方法書について(答申)

平成 24 年 11 月 6 日付け札幌対第 50957 号にて当審議会に諮問のあった標記の件について、別紙のとおり結論を得たので答申する。

(仮称) 北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業環境影響評価方法書について

1 騒音・振動について

施設の使用・供用時における施設の稼働に伴う設備機器からの騒音・振動について、準備書に想定される設備機器の仕様等を記載するとともに、環境に影響を与える機器の導入が見込まれる場合には、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置を検討すること。

2 風害について

事業区域内に配置予定である通過動線による影響の可能性を考慮して、予測評価を行うこと。

また、周辺に、学校等の特に配慮が必要な施設があるため、地表面付近への影響に十分に留意すること。

3 土壌について

事業区域には現在にいたるまで、多様な施設が立地し、有害物質の使用による土壌の汚染が懸念されることから、当該区域における土壌の汚染状況を把握するため、適切な方法にて現地調査を行うこと。

4 日照について

計画建築物の存在による、日照障害の影響については、付近の学校及び住宅の配置状況等を考慮し、適切な配慮を行うこと。

5 動物について

建築物の最大高さが180メートルに至る計画であることから、オジロワシ、オオタカ、ハヤブサなどの希少猛禽類を含む鳥類の衝突事故が危惧される。このため、目視できる鳥類の飛翔コース及び飛翔高度の測定を行い、調査結果を踏まえて、バードストライクに関する検討を行うこと。

6 温室効果ガスについて

事業活動による温室効果ガスの予測において、温室効果ガスの排出量及びエネルギーの使用量の原単位の設定については、適切に行うとともに、その設定理由を記載すること。

付 属 資 料

目 次

1 諮問書（写）	1
2 審議経過	2
3 札幌市環境影響評価審議会委員名簿	3

(写)

札幌対第 50957 号
平成 24 年(2012 年)11 月 6 日

札幌市環境影響評価審議会
会長 佐藤 哲身 様

札幌市長 上田 文雄

諮 問

札幌市環境影響評価条例第 45 条の規定に基づき、環境影響評価の重要事項である、次のことについて諮問します。

(仮称) 北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業環境影響評価方法書について

審 議 経 過

開催年月日	審議会	内 容	出席委員数
平成 24 年(2012 年) 11 月 6 日	本会議 (諮問)	・ 諮問 ・ 方法書記載内容の審議	9 名
平成 25 年(2013 年) 1 月 16 日	本会議 (答申案)	・ 答申書案の取りまとめ	10 名

第7次札幌市環境影響評価審議会委員名簿

氏名	性別	職業（役職）	分野	通算任期
ムラオ ナオト 村尾 直人	男	北海道大学大学院工学研究院 准教授	大気等	2期目
サトウ テツ ミ 佐藤 哲身	男	北海学園大学工学部建築学科 教授	騒音	3期目
サトウ ヒサシ 佐藤 久	男	北海道大学大学院工学研究院 准教授	水質	1期目
ヤマモト ユウコ 山本 裕子	女	北海学園大工学部社会環境工学科 准教授	水質	3期目
イガラシ トシフミ 五十嵐 敏文	男	北海道大学大学院工学研究院 教授	地盤環境	3期目
ハヤシ ユウコ 早矢仕 有子	女	札幌大学 法学部 教授	動物	1期目
アカマツ リカ 赤松 里香	女	特定非営利活動法人 EnVision 環境保 全事務所 理事長	動物 (触れ合い活動兼務)	2期目
ニシカワ ヨウコ 西川 洋子	女	(地独)北海道立総合研究機構 環境科 学研究センター 研究主幹	植物	3期目
ミヤキ マサミ 宮木 雅美	男	酪農学園大学 農食環境学群 教授	植物 (動物兼務)	2期目
モリモト ジュンコ 森本 淳子	女	北海道大学大学院農学研究院 准教授	生態系	1期目
ヨシダ ケイスケ 吉田 恵介	男	札幌市立大学大学院デザイン研究科 教授	景観	2期目
トウジョウ ヤスマサ 東條 安匡	男	北海道大学大学院工学研究院 准教授	廃棄物	3期目
ハンザワ ヒサシ 半澤 久	男	北海道工業大学空間創造学部 建築学科 教授	温室効果ガス	2期目
トオイ アキコ 遠井 朗子	女	酪農学園大学 農食環境学群 教授	環境法	2期目